

令和 3年度

事務事業評価表 (令和 2年度 の実績評価)

記入年月日
令和 3 年 4 月 1 日

事務事業名		市民参加型イベント開催支援事業			事業区分		担当	
					新規/継続	継続	事務事業No.	040303000959
					単独/補助	単独		050301
政策体系	総合計画の施策名		0403 観光の振興				所属課	商工観光課
	政策名		04 活力ある産業のまちづくり				課長名	
	施策名		03 観光の振興				グループ	商工観光グループ
	手段名		03 ③観光まちづくりの実践				担当者名	
財務会計上の位置付け					事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計	
	01	07	01	05	01	00	地域振興事業	
					単年度繰返し (平成18年度~)			
法令根拠					期間限定の場合、総投入量を(3)投入量の右側に記入			
SAKURAフェスティバル実行委員会補助金交付要項、まかへの秋まつり実行委員会補助金交付要項								

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要	
①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
<p>平成26年度まで、市民祭inいわせと市民祭inまかへの2つのイベントを実施してきたが、平成27年度は合併10周年記念市民祭として合同で開催した。その後、平成28年度はヤマザクラ開花時期に合わせて4月に時期を移動し、「SAKURAフェスティバル」として開催した。</p> <p>趣旨としても、地場産業や市特産品の出店をメインとし、1日で桜川市を満喫していただくことを目的としている。</p> <p>具体的には、実行委員会を開催し、当年度の催事内容及び運営方法について商工会・行政団体・市民団体と協議を行い、イベントの計画から運営までの活動支援を図る。</p> <p>また、市ホームページや市広報紙、全戸にチラシを配布するなど広く周知し参加を呼びかける。</p> <p>平成29年度からは直轄の秋まつりの支援を行っている。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○市補助金申請書の受付、交付決定、支払い、実績報告書等の事務全般、実行委員会全体の運営 ○会場内の準備全般及び会場周辺駐車場の整備・案内板の設置 ○ステージイベント出演者の依頼及び調整 ○チラシ印刷及び会場設営 (イベント会社委託) に伴う契約業務、保健所へ関係書類の申請業務 ○市ホームページ・市広報紙への掲載、及びチラシの全戸配布などの広報PR等

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
実行委員会事務局としてイベント運営全般の業務に携わる。	参加団体数	団体	31.00	0.00	0.00	33.00	33.00
	会議回数	回	3.00	1.00	3.00	3.00	3.00
	催事数	回	2.00	0.00	1.00	2.00	2.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)	⑤対象指標 (対象の大きさを表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
市民	人口	人	39,692.00	38,905.00	38,118.00	37,331.00	36,544.00
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)	⑥成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)	単位	01年度	02年度	03年度	04年度	05年度
市民の交流や郷土愛を育む場を創出し、地域文化や産業の振興をめざす。	催事来場者数	人	5,000.00	0.00	0.00	5,000.00	5,000.00
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	01年度	02年度	03年度	期間限定 総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
事業費	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	7,000	0	1,500	0
	事業費計 (A)	千円	7,000	0	1,500	0
正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人		

事業費の内訳	02年度事業費 実績 (千円)			03年度事業費 予算 (千円)		
				18 負担金補助及び交付金	1,500	
			合計	0		合計
						1,500

事務事業名	市民参加型イベント開催支援事業	事務事業No.	40303000959	所属課	商工観光課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
・合併前から実施していた「町民祭」や「商工祭」が、合併を機に「桜川市民祭」と名称を変更して開催した。平成28年度からは4月のヤマザクラ時期に開催し、「SAKURAフェスティバル」に生まれ変わった。 ・5年前と比べると市外の来場者も増えているようである。					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
・駐車場が遠い ・地域の人に参加できる催し物が少ない ・仮設トイレ、ごみ箱、テーブル、キッズスペース等の不足					

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている 地場産業のPRや、市民の交流を図る大きな機会となっている。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 地場産業のPRの場として、市の関与は妥当である。また、市民参加型のイベントを開催することで、市民の融和を図るとともに、郷土文化に対する愛着と誇りを高めることを目的としている。
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 実行委員会メンバーやイベント参加者の固定化により、行う企画が毎年変わらないものとなっており、市民のより多様な意見を取り入れる余地がある。
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 市民同士の融和が図られなくなると共に、観光イベント及び商工業PRの場が減ってしまい影響が出る。
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) <input type="checkbox"/>
	<input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる 具体的な手段、事務事業名 桜川市観光協会と連携し、イベントのPRを強化していく。
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある 現在は、実行委員会事務局を行政が務めている。実行委員会をより市民主体のものとし、市民が企画運営する体制を構築することで、事業費の削減と市民参加の推進を同時に図ることができる。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 全市民を対象にしたイベントであり、受益者負担を求めることは困難である。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																								
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇒	「SAKURAフェスティバル」は多くの市民が参加するイベントとして定着してきた。その一方で、H30年度には真壁地区においても「まかべの秋祭り」が開催され、こちらも市民手作りのイベントとしてにぎわいの創出につながった。新型コロナウイルス感染症拡大の状況を鑑み、令和3年度の開催は中止した。																								
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																								
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input checked="" type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input checked="" type="checkbox"/> 連携ができる																								
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 開催時期や催事内容、会場レイアウトなどについて、より市民が楽しめるイベントにすることができる可能性がある。実行委員会にて検討することで改善を図る。感染拡大の状況を注視しつつ、開催の有無やイベント形式について検討する。		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○											
成果	向上 維持 低下	コスト																								
		削減	維持	増加																						
			○																							
(6) 事務事業優先度評価結果		成果優先度評価結果 ②																								

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続 (現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続 (改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>